

171伐木等機械を起因物とする死傷災害100事例（-2017年）

No	年	月	発生 時	死傷災害事例	年 齢	事 故 の 型	小業種	労 働 者 規 模
1	2017	12	10~11	立木伐採現場で造材をしているとき、プロセッサ（0.45バックホー）を次の場所に移動するときに道路に雪があったが、平らな所だから大丈夫だと思い走行したところ、滑って道路下に落ちた。	41	1	60201	1 ～ 9
2	2017	12	13~14	木材の運搬作業で、トラックの通行の為に管理道路の除雪作業中、下り坂でアイスバーンであったため重機（グラップル）が滑り、路肩から約10m滑落し、横転の状態ですら面に止まった。横転した重機から自力で脱出し管理用道路まで上がってきた。	54	1	60201	10 ～ 29
3	2017	12	9~10	営業所工場内、308Dハーベスタ油漏れ修理で、メカニックからハーベスタの開閉を頼まれ、車両に乗り込む時、セーフティレバーが解除されていないことに気づかず、右足が作業レバーに当たってしまい、作業機が車両側に動いてしまい、油圧ゲージ確認のためブレード上にいたメカニックの足がブレードとハーベスタの間に挟まれ受傷した。	30	7	80209	1 ～ 9
4	2017	10	10~ 11	被災者+C1:C55（作業班長）は、当時、架線系搬出現場にて不要になった向柱の撤去作業を行っていた。向柱上での作業を終え、地面に降りるために、重機（プロセッサ）のヘッド部分に移り、安全帯を移し、重機のオペレーターに地面に降ろすよう合図を行った。合図を受けたオペレーターは、重機の外にいたため、操縦席に乗り込み、エンジン始動と安全レバー操作を行った。その時、オペレーターの上着（ヤッケ）が操作レバーに	30	7	60201	10 ～ 29

				引っかけり、右旋回の動きになっていた。オペレーターはこの事に気付いておらず、安全レバーを降ろすと同時に重機が右旋回をした。その際、ヘッドに搭乗していた被災者の左肘が重機のヘッドと向柱の間に挟まった。				
5	2017	9	15~ 16	山林を切り開く整地工事中、伐採した木材をバックホーで挟み運搬する際に、機械の作業範囲内に作業員が居ない事を目視で確認できないまま作業を続けた、作業員も機械の稼働範囲である事の認識が無かったため退避が間に合わず木材が左足に当たり受傷した。	57	6	30209	1 ~ 9
6	2017	9	8~9	トラック（25t）の荷台上の台木（パルプ材用レール）脱着作業中、グラップルにてレールを持ち上げ移動させる際、グラップルとレールが平行でなかったためレールが右方向にはじかれてその際、そばにいた被災者の右大腿部にあたり負傷した。	45	6	60201	10 ~ 29
7	2017	7	15~16	間伐材を伐採した後グラップル付バックホウを使って林道山側の材を林道に引き出す作業中グラップルで材をつかんだまま後向きに引っ張っている時に路肩に寄り過ぎて左キャタピラが脱輪しかかった。その状況を修正しようとしていたが運転席に乗ったまま機械ごと横転し林道から転落した。その時に運転席のキャビンと地面の間に左腕と左足を挟まり負傷した。	63	2	60201	1 ~ 9
8	2017	6	10~ 11	平な山林で玉切作業をしていて、次の玉切作業に移るため待機中で、地面に付いていたつるに上がっていた。そのつるが、引き寄せする木に絡まって伸びているとは知らなかった。重機オペレーターが次の作業をするために、木を引き寄せ始めたところ、つるが持ち上がり、別の重機のキャタピラの部分に引き寄せられ、つるとキャタピラに挟まれて被災した。	58	7	30309	10 ~ 29
9	2017	5	14~	山林現場でグラップルで集材作業中、斜面の上部の材の裏を掴んで左に振ったところ、上に1本重なっていたと思われる木が滑って来たので止めようとしたが間に合わず、キャビンの正面のガラ	35	4	60201	10 ~

			15	スを突き破り、足元に突っ込んで来た。その際に左足首をこすり、捻って、踝の腓骨を骨折した。				29
10	2017	5	14～ 15	立木販売および集材路支障木伐倒作業の際、ブナ伐倒木A（胸高240cm、樹高16m）とクリ伐倒木B（胸高18cm、樹高16m）をグラップルで挟み山側から集材路脇に寄せようとしていたところ、クリ伐倒木C（胸高28cm、樹高18m）の上に被さっていたスギ伐倒木D（末口径16cm、材長19m）がバランスを崩して滑り落ち、キャビンにいた被災者の左大腿部に当たった。	60	6	60201	10 ～ 29
11	2017	1	13～ 14	皆伐作業現場で、作業路ふちに残していた最後の3本の杉を、被災者がチェーンソーで伐倒した後、別の作業員がグラップルで当該伐倒木の木寄せを行っていた際、3本目の伐倒木の木寄せをしようとしたときに、作業路上に仰向けに倒れている被災者を発見した。	49	6	60201	—
12	2017	1	13～ 14	重機作業者が雑木を挟んで指定の場所に置く作業をしていたが、伐採した雑木が少し長がすぎたのとチェーンソーで枝を切る作業者との間隔が近かった為（18m程）細い枝木（直径5cm）が作業者の右上腕に接触し負傷した。	67	6	60201	1 ～ 9
13	2016	12	9～ 10	ユンボグラップルを使って、20m下の伐倒した木を吊り上げて、集材する作業をしていた。被災者は、直径約25cmの倒木の切り口から約30cmの所にワイヤーを取り付けたあと、4m離れた場所に移動して巻き上げOKの合図をした。合図を聞いたユンボ操作者が、ユンボのウィンチを操作し、ワイヤーを巻き上げたところ、ワイヤーが取り付けた木の右下に置いてあった他の木に当たり、衝撃でその木が弾き飛ばされ、被災者が着けていたヘルメットを直撃した。	46	6	60201	1 ～ 9
14	2016	12	12～ 13	重機で地拵え中、重機が雪で横滑りし横転し、全身打撲。割れたガラスで手を切った。	59	1	60201	1 ～

									9
15	2016	11	16~ 17	道上にある椎茸原木林をチェーンソーにより伐採作業を行っていた。伐採現場には幅員2mの作業道があり作業道の通行に支障となる倒木を被災者がミニグラップルで移動していた。その際、被災者が運転を誤りミニグラップルが作業道から転落した。	46	1	60201		10 ~ 29
16	2016	11	8~9	杉出材作業中に、丸太の積込の際に、B丸太の検知を指示された被災者は、B丸太を積み込むものと思い込み、B丸太の検知を始めた。積込機械の運転手は、A丸太の積込のため機械を旋回させた時、B丸太を積み込むものと思い込み旋回範囲に立ち入っていた被災者の頭部に、積込機械の後方が当たった。	44	6	60201		1 ~ 9
17	2016	10	9~ 10	広葉樹の集伐作業中、伐材木が耕地内の沢に倒れた集材作業をしていた。沢に落ちた木はワイヤー等にて引き上げていたが、たまたまバック木により、直接引き上げようと試みたとき、現場の状況がやわらかく滑って、沢に落ち、転倒した。	72	1	60201		1 ~ 9
18	2016	9	9~ 10	剪定作業中、裁断されたヒノキを従業員2人で移動させる時、同僚が操作している油圧ミニショベルのフォークローの爪に被災者がワイヤーを掛けている時、ワイヤーが完全に掛かったと同僚が思い少し爪を動かしたので、被災者は慌てて手を放そうとし、右手甲がフォークローの爪に強く当たり負傷した。	70	8	30199		10 ~ 29
19	2016	8	14~ 15	山で雑木直径20cm~30cm位の木を切るのに、切りかたによって下に落ちてユンボで木があげられなくなる為、ユンボに別の木を挟んでその木をたおそうとしていたところ、挟んでいた木がユンボから外れてその木をチェーンソーで切っていた被災者の足の近くに当たって落ちたので骨折した。	31	4	60209		1 ~ 9
20	2016	7	14~ 15	高速道路工事で用地境界付近の伐木作業中、バックホウで伐倒する木を支え、被災者がチェーンソーで伐採し、バックホウが右旋回しようとした時、操作ミスで掴み装置を手前に引いてしまったため、予定の方向から少し手前に木が倒れ、残っていた切口が跳ね	66	6	30106		10 ~ 29

				上がり、被災者の右足ひざ下にぶつかり被災した。				
21	2016	6	6～7	作業現場で機械作業を始めようとした時、機械に乗る際、機械にかけた足が雨で滑りその勢いで右肩に体重がかかり脱臼した。	31	19	60201	10 ～ 29
22	2016	4	14～ 15	木材リサイクル工場で作業中に動機の移動中に接触してしまい、負傷した。	22	6	150109	1 ～ 9
23	2016	4	14～ 15	平地の重機おき場でグラップルの油量を見るために重機の上に昇ろうとした時足をすべらせ転倒した。	68	2	60201	10 ～ 29
24	2016	4	11～ 12	重機の調子が悪く重機のキャタピラ部分を修理していた。その際部品の一部が途中で引っ掛かってしまったため確認のためその部分を覗き込んだ所、その部品が飛び出して胸にあたり、その衝撃で跳ね飛ばされ後ろに置いてあった重機に頭を強打した。	50	4	60201	10 ～ 29
25	2016	3	8～9	土場西側場内で、グラップル付パワーショベルのアーム部分のグリスアップ作業をするべく、パワーショベルのエンジンボティ上部に昇り作業にかかったところ、昨夜からの積雪が約15cm程度あり、雪を事前に手で部分的には取り払ったものの、足を滑らせ約2m下の土場に落下し、左肘を打撲、骨折負傷した。	33	1	80109	10 ～ 29
26	2016	3	10～ 11	杉立木伐倒集積作業道上で、丸太集積作業中パワーショベルで丸太をクローラードンプに積込中、近くで休憩していた被災者の側を、丸太を掴んだ状態で旋回したところ、丸太がすべり落ち、被災者の右大腿部に当たり受傷した。	74	4	60209	1 ～ 9
27	2016	2	13～ 14	伐採したヒノキをチェーンソーで玉切り中に重機のオペレーターが玉切しやすいように伐倒木をグラップルでよせようとした時につかんだ木が折れて当たった。	34	6	60201	10 ～ 29
				グラップル付バックホーを使って2名で伐倒作業中、被災者が受				

28	2015	12	11～ 12	口を作り追口を入れて、1m50cm位退避し、グラップルで押した所、グラップル側のツルが強く、機械の方に伐倒木が寄り、グラップルのツメの部分に乗った状態になり、材が滑って被災者に当たった。	67	6	60201	30 ～ 49
29	2015	11	9～ 10	山の木を伐採作業中、のり面で作業を行っており、バックホーで倒した木を掴み旋回したところに、手元の作業員が居て、ぶつかると思い避けようとしたが、ぬかるみにはまり、避けきれず木の枝が作業員の脚に接触した際、右足を受傷する。	63	6	30201	1 ～ 9
30	2015	10	10～ 11	間伐材の伐採・搬出作業中、林道のり面に伐採した桧3本をグラップルで林道に引き降ろし、玉切り・枝払い作業中、2本が林道に降りた後、本人が玉切り作業を始めた所、グラップルが残りの1本を引き降ろし、のり面を滑落した幹部と林道路面に左足が挟まり負傷する。	35	6	60201	1 ～ 9
31	2015	10	10～ 11	チェーンソーで伐倒木の枝払中、伐倒木に足を乗せ作業していたところ、バランスを崩し、回転中のチェーンソーが左足大腿部を直撃し切傷した。	67	8	60209	1 ～ 9
32	2015	9	17～ 18	被災者を含む作業班（3名）は作業道周辺において伐採木の集材作業をしていた。重機オペレーターがグラップル付きバックホーにて伐採木（全木）の移動作業を行っていたところグラップルでつかんでいた伐採木が立木の枝に接触し、伐採木のバランスが崩れ伐採木の梢端部が斜面下部でチェーンソーで玉切作業を行っていた被災者の後頭部から背中にかけて当たり被災した。	64	4	60201	50 ～ 99
33	2015	8	11～ 12	造材作業中、重機で根切したものを集材し3mに玉切する旨に重機で杉を持ち上げ切りやすくするよう少しスライドさせた時に計測する為近づいた時、木に押され転倒し側溝で左腰を強打した。	60	6	60201	10 ～ 29
34	2015	8	10～	枯木撤去作業中、そばで直径10cm～15cmの小木をユンボ（ホーク付）を使用してトラックに積み込む為、本木をつまんだ時、本木と位置とホークの角度の関係で左右上下に動いた為、そばで作	50	6	30106	1 ～

			11	業中の両足にあたり、前のめりに倒れ、両手を地面についた時、 負傷。				9
35	2015	6	6~7	製材工場の土場にて木材グラップル機運転席から身を乗り出して 安全ロックレバーを下げたままエンジンを止めずにはい積した太 い丸太の直径を丸太に記述しているときに体が旋回レバーに触れ たため運転席が旋回し丸太と運転席との間に挟まれ負傷した。	57	7	10401	10 ~ 29
36	2015	5	8~9	木材伐採搬出現場にて、木材を積み置きする為の杭を打つ為に重 機で移動しようとした所、その後の作業の為に方向転換が必要 だった為約50m後方に広い場所があったが林道内で向きを変えた ため、路肩からクローラーが外れ安定を崩し、林道から法面を転 がり、重機が転落した。重機オペレータは転落中に飛び降りたが 斜面に降りたため、切株等に当たり、転倒し、胸肩を強打した。	41	1	60209	10 ~ 29
37	2015	5	10~ 11	木材を運搬車へ積込む作業をしている時、使用していた重機の旋 回時川側へ旋回し川中央付近で重機が転倒し始めたため運転手は 川方向へ飛び降りた。運転手が、川へ着地した直後、重機が落下 し、ブームと川床の間に下半身を挟まれ、被災した。	74	1	60201	1 ~ 9
38	2015	4	8~9	杉皆伐作業中、土場に伐倒木を移動したところ土場に集積してい た木材に触れ、押された木と切株の間に足首をはさんで被災し た。	57	6	60201	1 ~ 9
39	2015	4	13~ 14	玉切り作業中、車体右側より倒木を引き出し、1人が検尺、1人が 木切り作業をしていた。材を移動する際、左側にも数本並べてい た倒木を検尺しようとしていた作業員に気づかず、丸太を掴んで 旋回中に作業員に当たり転倒した。	65	6	10401	1 ~ 9
40	2015	4	16~ 17	樹木を2.4mの長さに切断する作業を実施中、バックホー（0.7?） で樹木を挟んで玉切作業中、樹木に近づき、2.4mのメジャーを 当てようとして地面に置いてある樹木とバックホーを挟んでいる 樹木の間足を入れたところ、バックホーが動いて樹木と樹木の	32	6	30109	10 ~ 29

				間に右足が挟まり転倒し負傷した。				
41	2015	3	8~9	道路側斜面において、チェーンソーで木材を伐倒して被災者が退避したのを見た後、プロセッサで枝払い作業中枝払いが出来なくなったため、再度プロセッサを元口の方に約3m戻し枝払いをしようとしていた時、掴んでいた木材を落としてしまった。その時、運転席からは被災者は見えていないが、落ちた反動で材が下方に多少滑り落ち、その材が被災者の腰に当り負傷した。	65	4	60201	1 ~ 9
42	2015	3	9~10	民有林の皆伐作業で杉（代根直径25cm位）の伐倒中被災者が受口を入れて追口を入れた後、事業主がグラップルで木を押して倒れる途中で木が縦割をおこし8M位退避していた被災者に飛来して当たった。	50	4	60201	1 ~ 9
43	2015	2	11~12	山林の造材現場で伐採して枝払した丸太をグラップルで集材作業中、グラップルでつかみ上げた丸太の先端にひっかかっていた板が跳ね上がり、グラップルの後方にいた作業員の後頭部と背中に当り負傷する。	68	4	60201	10 ~ 29
44	2015	1	11~12	竹垣工にて妄想竹（約4m）下処理の為、地面平に置き同僚に押しさせてもらい、電動丸ノコで切断する際、刃が竹の節に引っかかり跳ね支えていた左手袋にあたり、左手親指第一関節上を切傷骨折した。	49	8	60101	1 ~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害100事例（-2017年）](#)に戻る。